

地域会館設計案についての地元説明会【大幡】

1 場所

大幡公民館 1階ホール

2 日時

令和6年5月18日（土）9時30分～11時10分

3 参加者数

29名

4 主な質疑及び回答

※【意見】は、参加者からの意見、質問、要望等。【回答】は市側の発言

《参加者1》

【意見】活動・交流スペースは事務室が必要な場合に事務室に変更するという考えか。誰が決めるのか。大幡公民館利用者か、市の考えか。事務室になれば、私たちが使えるスペースが狭くなる。

【回答】原則、活動・交流スペースを置くという案になっているが、パブリックコメントでも、職員を配置してほしい、職員がいなくなるのではと心配だという意見が多かった（意見を寄せた19名中7名）。職員を置くかどうかは、公民館再編とも関係し、地域会館の維持管理という意味でも課題である。職員を置く方針となった場合には、フリーアドレス方式にするのか、事務室を設置するかの選択肢として、地域の皆さんの御意見をお聞きしたい。1つの方法として、基本設計案ができた時点で、地域の代表が集まる地域公民館運営協議会の御意見を聞くことにより、地域の意見を反映させることを考えている。

【意見】絶対に面積は変えないという前提か。

【回答】市の方針であり、施設マネジメントの視点からも面積は変えず、延べ（床）面積200㎡を上限として御意見をいただきたい。

【意見】活動・交流スペースを少し広くして、カウンターを配置し事務室を確保、職員を配置し、両方の機能を持てる方法があるのではないか。公民館を利用する者にとって活動するスペースが少しでも広い方がよく、職員にお世話になって快適に活動したい。

【回答】柔軟に使う方法・仕様は、検討課題である。

【意見】ホールは、図面にある大きなスペースを使うことがあるか。

【回答】資料の最後に各室・スペースの面積を記載しているが、大幡公民館と（仮

称) 大幡会館との比較では、ホールについては現在より広くなる見込みで、体を動かす活動を想定して広めにとっている。

《参加者 2》

【意見】ホールは、最大人数50人からと聞いたが、手芸教室の場合、机を使って最大何人まで活動できるか。30人くらいで活動しているが、現在のホールではいっぱいとなる。

【回答】50人というのは、研修等座学で使用情况の場合の人数である。30人くらいであれば、ホールで問題なく活動できると考える。

《参加者 3》

【意見】ピアノを置く場合、床の補強が必要だ。今あるピアノは置けるのか。

【回答】ピアノや卓球台など大きい備品は、必要であれば今あるものを引き継いでいくことを考えている。床については、特に補強しなくてもピアノ等を置けるような設計・仕様になるのではないかと考えている。

《参加者 4》

【意見】公民館の利用率を基に面積を考慮したという説明だった。公民館は使えるだけの団体を受け入れて、新たな団体が入り込めない。柿沼の団体は、公民館を使わず自治会館を使って活動してきた。そのような状況で利用率を基にするのはいかがなものか。

【回答】利用状況の数字については、大幡公民館だけでなく、市内の地域公民館全体の数字であり、94%以上に対応できるだろうと考えている。大きい部屋を2つに区切って使うという考えもあるが、現状の案では間仕切り等を用いない場合は、2部屋しかないので3団体使う場合は調整が必要である。平均すると地域公民館の稼働率は30%前半くらいであり、時間帯によっては混み合う場合もあるが、うまく調整して利用いただけるとありがたい。

【意見】小学校統合前の小学校区にこの施設を同じように造るというが、その地域の人口を考慮しての検討だったのか。人口・面積を考慮して施設を造らないと利用できない団体が出る。ただ200㎡の施設を造るということではなくて、その地域の人口・面積を考慮してほしい。

【回答】小学校区ごとに一つということで、直接的には人口は考慮していない。この点につき、現在進めている公民館再編の中では、公民館の区域を広くして施設を相互に融通して使えるようにしたらどうかと公民館運営審議会から答申をいただいた。正式に決定したものではないので仮の話となるが、例えば、こちら大幡地区を含む(仮称)第3中央公民館についてみると、大幡・奈良・

中条の区域全体で施設を相互に利用できるという形を検討している。今までには、大幡からみて奈良や中条は区域外の扱いで減免もきかなかったと思うが、同じ区域になって減免が受けられるようにすることを現在検討している。公民館の区域を広くして既存施設の利用の選択肢を増やしたいと考えており、既存施設や近くのくまびあも利用していただければと考える。

《参加者 5》

【意見】今、くまびあの話が出たが、くまびあを使うと大変な金額がかかる。会費が無くなってしまう。公民館が再編されるとくまびあは無料化になるのか。減免が公民館はきいて、くまびあはきかないのはなぜか。

【回答】施設によって減免の基準は違う。また、令和2年度に公民館運営審議会から、受益者負担の視点に基づく答申を頂いているが、その内容は、公民館を利用している人の減免分は税金で賄っており、公民館を利用していない人との公平性を考えると、利用者（受益者）に一部だけでも負担してもらった方がよいのではないかというものである。この答申に対しては、市としての対応をまだ示すことができず、現在課題となっている。地域会館については、学習グループを減免対象とすることなどについては、現在の公民館の減免基準を引き継ぐ方向で検討しているが、受益者負担の答申を受け、一部負担についても検討していることを報告させていただく。

《参加者 6》

【意見】ホールにカーテンなどをつければ、3団体使えて1団体救える。面積を広げるのが無理なら、可動式間仕切りをつければ、部屋の数を実質的に増やせる。

【回答】ホールや会議室を間仕切りで2つに分け、部屋の数を実質的に増やすというのは検討していく予定。一方で、カーテンでは音が漏れ、防音が不十分だという意見もある。フリースペースと考えている活動・交流スペースを特別に貸し切りで使用するという方法も考えられるので、部屋数を実質的に増やす方法についても検討していく。

【意見】隣の深谷市の公民館と熊谷市は違うが、せっかく造るからには市民の利便性を考慮して欲しい。

【回答】深谷市のことは承知している。深谷市の大規模な公民館に匹敵する施設は、本市では生涯活動センターになると考えている。整備予定の（仮称）第2中央生涯活動センターは約3千㎡（基本設計の延床面積2,930㎡）で、熊谷市は大きな7施設の生涯活動センターと、小さな30施設の地域会館をそれぞれ整備し、役割分担して市民ニーズに答えていく計画である。

《参加者 7》

【意見】公民館がなくなった場合、サークル活動はどうなるのか。団体として登録はできるのか。

【回答】現在は、市の組織も、施設・建物も、また関わっている地域の組織も全て公民館と呼んで区別しておらず、分かりにくい。これからは施設を地域会館と呼んで、組織としての公民館と区別しやすくするが、組織としての公民館自体は無くならない。公民館再編で、大幡、中条、奈良の区域全体で、(仮称)第3中央公民館とすることを検討中であり、大幡公民館の登録団体は、引き続き登録し活動できる。今後、公民館再編は条例の改正が必要であるが、新しくできる地域会館も広域化した区域の中の利用施設の一つと考えていただきたい。なお、地域における公民館組織(地域公民館運営協議会など)の在り方についても、併せて検討中である。

《参加者 8》

【意見】地域内の他の施設が使えなくなり、利用していた団体が、みな大幡公民館にきている。ホールを区切り部屋数を増やすことが必要だ。また、音が漏れるようなことがないようにしてもらいたい。また、職員が滞在するのであれば事務室を作った方がよい。大幡公民館も使えるうちは壊さずに使わせてもらいたい。

【回答】ホールの間仕切りは検討したい。施設については、市の施設マネジメントの計画に沿って進めている。古い建物は、維持管理にも余計にコストがかかる。大幡公民館は耐震性に課題があるが、耐震工事は新築するよりお金がかかる場合もある。大幡公民館は、(仮称)大幡会館の工事中は使用できるようにする予定だが、大幡会館の完成後は、速やかに解体・除却の予定である。

《参加者 9》

【意見】職員の常駐はあるのか。

【回答】まさに検討中である。公民館を広域化した場合、拠点施設の事務室には職員がいるとして、例えば、(仮称)第3中央公民館の事務室をくまびあ内に設置し、他の大幡、奈良、中条の3施設に出向くことにするのか、それぞれに職員が残留するのかは検討中である。

《参加者 10》

【意見】大幡公民館を、2026年にくまびあに移転する話はなくなったのか。

【回答】広域化した(仮称)第3中央公民館の事務所をくまびあに置くことを検

討している。

《参加者 1 1》

【意見】 AED はマットを敷いて使う。館内で使うこととなった場合、できれば畳の部屋があった方がよい。

【回答】 AED を使うのは緊急事態であり、床でもどこでも使うことになる。命が最優先で、閉館中は窓を壊して館内にある AED を使ってもらって構わないが、AED の設置の方法は、設計の段階で建築士に相談して検討したい。また、マットということであれば、ユニバーサルトイレにユニバーサルシートを設置したい。床については、特に体を動かす活動にも使用されるホールなどは、固くない床の導入も検討したい。

《参加者 1 2》

【意見】 地域会館の工事が着工しても、大幡公民館のホールは使うことができると思うが、工事車両等で駐車場が利用できなくなることはないか。

【回答】 駐車場は広く、サークル活動の皆さんの駐車は大丈夫であると考えている。

《参加者 1 3》

【意見】 ホールの机は、端に置くのか。ホールは実技の場合、最大で 24 人入るとあるが、机を端に置いた場合、果たしてその人数が入るのか。

【回答】 建築面積では 198 m²以上ではほぼ余裕はないが、延べ（床）面積では 200 m²にはまだ若干余裕があると考えている。机の収納等、建築士と相談しながら良い方法を決めていきたい。

《参加者 1 4》

【意見】 大幡公民館には倉庫が 3 つある。この倉庫はどうなるのか。倉庫を置く場所によっては駐車場が狭くなる。

【回答】 敷地内のどこかに移転することになるが、使いやすさや安全性等を考慮して決めていきたい。

《参加者 1 5》

【意見】 卓球台は、今と同じように壁に立てかけるのか。今と同じように使う場所に置いてもらえるのか。

【回答】 卓球台も収納スペースを設け納められれば良いが、検討課題としたい。

【意見】 職員がいない場合は、利用の申込みはどうなるのか。

【回答】オンラインでの予約を想定しているが、使用料の支払いを伴う場合があり、キャッシュレス決済には現在対応できていない。職員については曜日を決めて配置するなども含め、方法を検討していきたい。

《参加者 16》

【意見】ピアノはどこに置くのか。防音はどうなるのか。

【回答】今のところ、残す場合には、ホールに置くものと考えている。皆さんの声をいただき、フリースペースに置きたいということであれば、そのような方法もある。音漏れについては若干あると思うが、学校の音楽室のような防音対策は考えていない。

《参加者 17》

【意見】職員がいなくても、複合機は使えるのか。例えばコロナの時には、職員が印刷をして、料金を支払った。職員がない場合、どのように利用したらよいか。

【回答】運用が決まっていない。皆さんの声を考慮して検討したい。

《参加者 18》

【意見】本来、職員がいるかどうかを先に決めるべきではないのか。

【回答】市の趣旨は、管理運営方法に縛られない、自由な立場から意見を伺いたいというもので、そのため職員がない場合を含めての施設的设计や仕様をパブコメ案として示し、意見を求めた次第である。今後、具体的な基本設計案と職員配置の方針との両方を示した上で、地域公民館運営協議会の御意見も聞いて、最終的に決定したいと考えている。

《参加者 19》

【意見】職員はいた方がよく、各部屋には鍵があった方がよい。

【回答】スマートロックが前提だが、スマートロックを設置できなければ職員を配置する方向性となる。施設全体（入口）と個々の部屋の鍵の管理方法など、検討していきたい。

以上